

## 研究課題名「経カテーテル大動脈弁留置術における術前 CT の比較検討」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2018年1月1日～2019年4月30日に当院で経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）を受けられた方

### 2. 研究目的・方法・研究期間

目的：TAVIの術前CT検査において現在行っているSBI法の有用性を検討すること。

方法：2017年1月から2019年4月までに名古屋大学医学部附属病院にて、TAVIの術前CT検査を行った約100例を対象とする。電子カルテ、及びPACSから臨床所見、各種画像所見、検査所見、CT画像を取得する。これらの情報から、以前行っていたvHP法と現在行っているSBI法を比較検討する。

研究期間：2019年6月～2021年4月1日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

CT画像より各血管のCT値の算出、身長、体重、年齢など

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院

医療技術部放射線部門 近藤 悟